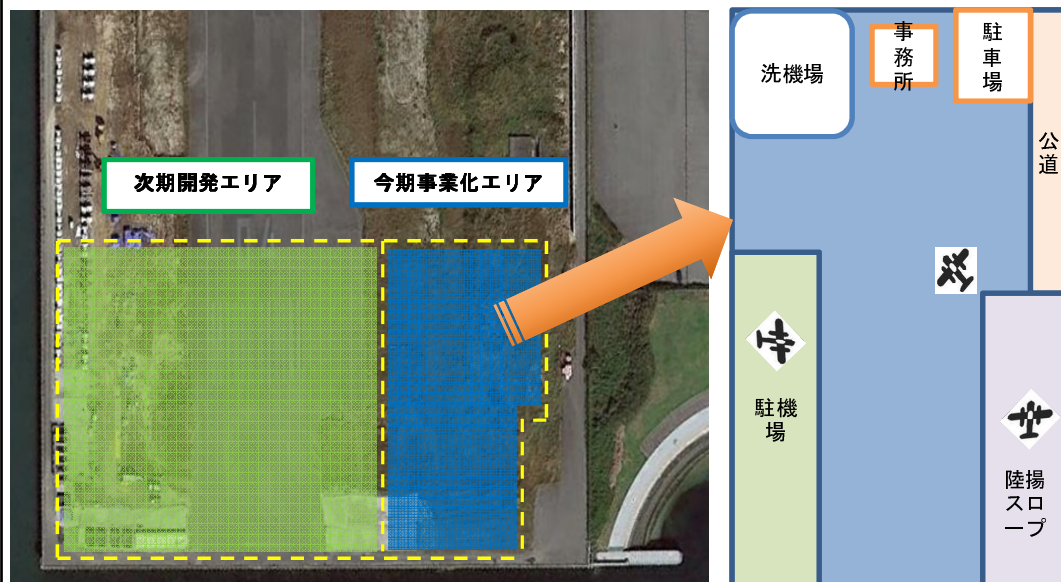


① 提案概要書

提案番号	提案名称	水陸両用飛行機の運航拠点～公共インフラとしての広島西飛行場跡地活用について～			
【提案の概要】 ◆ 広島市中心部からのアクセスも良く海に面した開放的な土地に、陸揚げスロープを活用した水陸両用飛行機の運航拠点を設けることで、遊覧飛行を中心とした観光拠点を作ります。 ◆ 同時に、水陸両用飛行機の特性を活かした交通ハブとしての機能も備えることで、県民のさらなる利便性向上を図ります。 ◆ 上記運航拠点西側エリアについては、多くの方々が集える開けた空間となるよう、全面緑に覆われた自然豊かなエリアを想定し、A地区の開発計画にも柔軟に対応できるよう、次期開発対象エリアとして提案します。		提案地区	B地区		
		概算事業費	2億円 ※今期事業化分		
		事業手法	賃貸借（30年）		

【配置計画概要図】



【外観パース】



【注】提案日現在のイメージ図です。所管当局の指導などにより仕様が変更となる場合があります。

① 提案概要書

提案番号	提案名称
	水陸両用飛行機の運航拠点～公共インフラとしての広島西飛行場跡地活用について～
事業コンセプト	◆ 日本で唯一の「都市機能の中における水陸両用飛行機の運航拠点」を設置することで、本エリアを新しい観光拠点として国内外にアピールするとともに、近隣空港や島嶼部へのアクセスツールとしてこれを活用することで、県民の更なる利便性向上を図ります。 ◆ 離島への緊急医療従事者や物資の搬送など、災害時救援対応拠点としての活用も目的としています。
導入機能	◆ 遊覧飛行及び2地点チャーター運航を行う拠点を設置することで、観光目的地としての機能及び交通拠点としての機能の導入を図ります。同時に、災害支援拠点としての機能導入も期待されます。
施設概要	【今期事業化エリア】 ◆ 運航事務所兼保安検査室／駐機場／洗機場・給油場 【次期開発エリア】 ◆ 次期開発エリアでは、緑豊かな芝地を設け、グランピング事業者を誘致する等、広く県民や観光客が集えるエリアを開発します。
施設等のテナント導入計画	◆ 今期事業化エリアにおけるテナント導入計画はありませんが、今後日本において水陸両用飛行機のユーザー（個人・事業主体）が増えた場合には、広島における駐機場として当該飛行機をお預かりするサービスも導入したいと考えます。
環境・景観に関する計画	【騒音対策】 一般的な生活騒音に関する環境基準値内におさめます。 【陸上安全】 海上での離着水となるため、観音地区をはじめとする住宅地の上空を低空で飛行することを回避します。 【海上交通】 船舶関係法令を遵守し、海域利用者の方々との情報共有を密にすることで、海上における安全に配慮します。 【水産資源】 飛行機の運航により悪影響を与えることのないよう、水産資源に保護・振興に努めます。
地域貢献	◆ 観光拠点としての機能を導入することで、広島県・市への誘客に寄与します。 ◆ 交通ハブとしての機能を導入することで、県民の利便性向上に寄与します。 ◆ 地域の子供たちに航空業界への関心を抱いてもらい、将来の夢や目標の選択肢の一つでも増やしてもらえる一助となります。
この提案で最も強調したい内容	【地域活性】 本事業は、瀬戸内海でしかできないこと、瀬戸内海だからこそできる事業です。本拠点を瀬戸内海における海の玄関口として活用することで、ここから唯一無二の広島の魅力を発信できると確信しています。 【安全運航】 当社は、極めて高度な安全理念を掲げこれを社是とし、また、様々な専門分野・バックグラウンド・世代の人材に多く活躍してもらうことで、地域の皆様に安心して暮らしていただける生活環境構築に配慮します。